

神戸大学ラボ見学会

先端膜工学研究拠点

先端膜工学センター

CAM-CNC統合による
革新的な
工作機械の知能化

界面科学
研究センター

3Dスマート
ものづくり
研究センター

日時：**平成30年3月6日（火）** 13:00~18:30

見学先：神戸大学（尼崎市中小企業センター集合、解散）

行程：研究センター等概要説明→研究センター等見学

参加費：無料

定員：20名（先着順）

申込方法：裏面申込書に記入の上、

FAXまたはメールにてお申込ください

主催：尼崎市産学公ネットワーク協議会

M A P：神戸市灘区六甲台町1-1



見学先概要

● 松山 秀人 教授、熊谷 和夫 特命准教授（先端膜工学研究拠点「先端膜工学センター」）

先端膜工学センターは、日本で最初の膜センターで、機能性膜技術は、水資源確保、大気環境保全や水素エネルギー有効利用といった環境・エネルギー分野において、非常に重要な要素技術の一つです。これら機能性膜の微細構造制御や膜機能・性能のさらなる向上をはかることにより、今後益々多くの産業分野での利用が期待されています。

● 佐藤 隆太 准教授、西田 勇 助教（CAM-CNC統合による革新的な工作機械の知能化）

機械加工を加工用プログラムで指令する方式から、加工中に工具位置や工具姿勢を計算して逐次指令する方式に転換して、工作機械の知能化技術を開発しています。CAM-CNCの統合により、製品と素材の3次元CADモデルから加工用プログラムを作成することなく機械加工が達成できるNC工作機械を開発しました。また、加工中の切削力を予測し、適応制御を実現することで、加工効率の向上と加工トラブルの回避を実現しました。

● 貝原 俊也 教授、西澤 重喜 特命教授（3Dスマートものづくり研究センター）

3Dスマートものづくり研究センターは、産官学連携研究の拡充、及び成果物のアウトリーチ活動を推進すると共に、神戸大学における3Dスマートものづくりに関する研究開発の機能強化を目的に設立されました。ものづくりに関するシステム・設計・生産分野の研究開発や普及活動について、関連する地域企業や自治体、研究機関などとも連携をしながら、シナジー効果を発揮させることで、地域経済の活性化に貢献していきます。

● 西野 孝 教授、松本 拓也 助授（界面科学研究センター）

材料の機能は、外界と接合する界面での現象に支配されているため、界面を基盤とした「ものづくり」の戦略が必要不可欠となります。界面科学研究センターでは、「界面」をキーワードに教育・研究分野の横断的な研究ユニットを形成することで、界面現象に関わる基盤研究を推進し、次世代のものづくりに繋がる研究シーズの創出をめざしています。

神戸大学ラボ見学会 参加申込書

（公財）尼崎地域産業活性化機構 行 （FAX06-6488-9525）

事業所名			
所在地			
業種			
TEL		FAX	

フリガナ		
お名前		
役職名		
メールアドレス		

※ご記入いただきました個人情報は、見学の際の事務連絡のみに使用させていただきます。

発信 協同組合尼崎工業会

【問い合わせ先】

尼崎市産学公ネットワーク協議会事務局（公益財団法人尼崎地域産業活性化機構 事業課）担当：山崎
TEL 06-6488-9501 FAX 06-6488-9525 E-mail yamasaki@ama-in.or.jp

※尼崎市産学公ネットワーク協議会構成団体（産業技術短期大学、大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学、尼崎市、尼崎商工会議所、尼崎経営者協会、（協）尼崎工業会、（一財）近畿高エネルギー加工技術研究所、（公財）尼崎地域産業活性化機構）